



JASDAQ

平成20年9月16日

各 位

会社名 平田機工株式会社
代表者名 代表取締役社長 米田康三
(コード番号: 6258)

問合せ先 取締役常務執行役員 小橋正實
管理本部長
(電話 096-272-5558)
(URL <http://www.hirata.co.jp>)

自動車部品関連生産設備 ACS-C 開発のお知らせ

当社は、自動車部品関連における生産設備、ACS-C (Assembly Cell System for Component) を開発し、ドイツで開催される国際組立・ハンドリング技術専門見本市MOTTEK2008に出展いたしますのでお知らせいたします。

記

当社は、自動車、FPD (Flat Panel Display)、半導体、家電をはじめとする多様な生産システムの製造・販売を行っており、自動車関連生産設備分野においては、特にエンジン組立設備分野で ACS (Assembly Cell System) コンセプトという思想に基づいた設備をご提供することにより、お客様から高い信頼と評価を得てまいりました。

この度、エンジン組立設備分野で培った思想とノウハウを自動車部品組立分野に活かした ACS-C を開発し、ドイツ シュツットガルトで開催される国際組立・ハンドリング技術専門見本市 MOTTEK2008 に当製品を出展することとしました。

1. 製品の特長

ACS コンセプトに基づき共通化したステーションに、当社最新鋭の組立用多軸ロボット Process-Fit を搭載することにより、高速かつ高精度の部品組立性能を実現いたしました。また、操作の容易性を追求して、操作画面による動作指示、データ収集が簡単にでき、高機能ながら使い勝手のよい設備となっております。

(1) 高速・高精度

Process-Fit を使った高速・高精度の組立作業により、高品質かつ高生産性を実現しております。また、ビジョンシステム (オプション) は、カメラ撮影により搬送物の位置のズレを補正する機能を備えており、更に高精度の生産が可能です。

(2) 柔軟な対応力

生産量の増減に応じたシステムの変更を容易に行うことができ、多品種の切り替えにも柔軟に対応しております。

(3) 省エネ・省スペース化

生産タクトに合わせ、ロボット動作を最適化。無駄な動きを無くし、またエア機器を使用せずコンプレッサーを不要としたことで省エネ化を進め、環境負荷を減らしました。

同時に、装置をコンパクト化し、省スペース化を実現しております。

(4) 使いやすさ向上

高機能でありながら、操作は簡単。使う人の立場に立ち、操作の容易性を追求しました。

- ・トラブル発生前後の状況を動画で再生でき、状況の把握が容易
- ・操作画面に表示する言語は、日本語・英語・ドイツ語を選択可能。オプションにより他の言語も選択可能
- ・設備に使用している消耗品の使用限界回数、現在の使用数を画面に表示。交換マニュアルも表示できるため、取扱説明書が不要

2. 製品外観



3. 業績への影響

当製品は自動車関連生産設備の売上増を通じ、来期（平成22年3月期）以降の業績向上に寄与するものと見込んでおります。

※ ACSコンセプト及びACS-Cとは

ACSコンセプトは「標準モジュールによる組立ラインシステム」を指します。以前の自動車エンジンの生産ラインでは常識であった生産工程ごとに専用装置を配置する形式に代え、多機能な標準装置をラインに配置することで、汎用性の高い効率的なライン設計が可能となり、品種切り替えに対する柔軟性やコストパフォーマンス、省スペース、メンテナンスの容易さなどの面でも高い優位性を発揮します。ACSコンセプトは、各種生産設備に応用可能ですが、現在は主に自動車関連生産設備事業への展開を進めており、すでに日米の大手自動車メーカー各社に導入いただいて信頼を得ております。

ACS-Cは、このコンセプトを部品組立分野に水平展開したものであり、今後同分野での積極的な営業展開を目指しております。

※ MOTEK2008とは

ドイツ シュツットガルトで開催される国際組立・ハンドリング技術専門見本市。

展示内容：生産オートメーション、ロボットシステム、電気設備等、各分野における先端技術及び製品等

開催日： 2008年9月22日から25日

会場： Landesmesse Stuttgart GmbH Messeplazza 70629 Stuttgart, Germany

以 上